



平成24年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 三協・立山ホールディングス株式会社

コード番号 3432 URL <http://www.sthdg.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 藤木 正和

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 吉田 安徳

TEL 0766-20-2122

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年5月期第2四半期の連結業績(平成23年6月1日～平成23年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年5月期第2四半期	135,177	5.0	5,290	64.5	4,565	96.4	3,169	209.4
23年5月期第2四半期	128,731	3.0	3,215	7.8	2,324	1.2	1,024	△27.2

(注)包括利益 24年5月期第2四半期 2,674百万円 (599.7%) 23年5月期第2四半期 382百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年5月期第2四半期	10.12	—
23年5月期第2四半期	3.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年5月期第2四半期	223,410	50,954	22.4
23年5月期	212,172	48,210	22.3

(参考)自己資本 24年5月期第2四半期 50,059百万円 23年5月期 47,328百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年5月期	—	0.00	—	—	—
24年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

本日公表いたしました「平成24年5月期 配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年5月期の連結業績予想(平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	267,000	2.3	8,400	6.2	6,900	7.6	4,600	623.7	14.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年5月期2Q	324,596,314 株	23年5月期	324,596,314 株
② 期末自己株式数	24年5月期2Q	11,543,661 株	23年5月期	11,521,164 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年5月期2Q	313,062,681 株	23年5月期2Q	313,384,061 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成24年5月期の個別業績予想 (平成23年6月1日～平成24年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	9.1	770	—	620	372.2	570	557.5	1.81

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

通期個別業績予想につきましては、営業外収支の悪化及び繰延税金資産の取崩し等により前回発表予想を下回る見込みです。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況からの持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題、円高、タイの洪水など日本経済を取り巻く外部環境は厳しさを増しており、依然先行き不透明な状況にありました。

このような状況下、平成24年5月期は現中期3ヵ年経営計画の最終年度にあたり、「建材事業の再生、構造改革から利益ある成長軌道へ」を基本方針とし、改善施策の推進など安定した収益基盤の構築を図るとともに、改装・リフォーム、非建材や海外事業強化など次の成長に向けた戦略の実行にも取り組みました。さらに震災の復旧・復興や省エネ等に伴う需要に対応するよう努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高1,351億77百万円（前年同期比5.0%増）と増収となりました。利益面では、営業利益52億90百万円（前年同期比64.5%増）、経常利益45億65百万円（前年同期比96.4%増）、四半期純利益31億69百万円（前年同期比209.4%増）と大幅な増益となりました。

【建材事業】

建材事業においては、震災の復旧や改装・リフォーム需要への対応、環境対応商品の拡販等を推し進めた結果、売上高1,012億49百万円（前年同期比4.3%増）と増収となりました。営業利益は、コスト・受注改善施策などを推し進めた結果、23億97百万円（前年同期比41.1%増）と増益となりました。

【マテリアル事業】

マテリアル事業においては、震災後に落ち込んだ需要が回復したことにより、売上高は184億43百万円（前年同期比0.7%増）とほぼ前年並みとなりました。営業利益は、急激な円高の影響で輸入押出型材へのシフトが進むなど汎用品を中心に価格競争が激化しましたが、高付加価値品へのシフトやコストダウンを進めたことなどにより、13億20百万円（前年同期比21.3%増）と増益となりました。

【商業施設事業】

商業施設事業においては、震災復興需要や夏季の電力供給制限に伴う店舗看板LED化などの節電需要に対応したこと、海外調達比率を高めてコストダウンを進めたことなどにより、売上高154億14百万円（前年同期比15.7%増）、営業利益11億99百万円（前年同期比99.5%増）と大幅な増収・増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は2,234億10百万円となり、前連結会計年度末に比べて112億37百万円増加いたしました。これは、売上債権の増加などによるものです。

負債の部は仕入債務の増加などにより、前連結会計年度末に比べて84億94百万円増加し、1,724億56百万円となりました。また、純資産は509億54百万円、自己資本比率は22.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年7月12日に公表しました平成24年5月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成24年1月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社において、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,041	28,105
受取手形及び売掛金	50,332	56,420
商品及び製品	10,208	10,871
仕掛品	12,128	14,441
原材料及び貯蔵品	3,054	3,213
その他	5,313	5,231
貸倒引当金	△2,681	△3,104
流動資産合計	102,396	115,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	29,920	29,275
土地	52,169	52,462
その他（純額）	12,381	11,920
有形固定資産合計	94,470	93,658
無形固定資産		
その他	1,081	1,001
無形固定資産合計	1,081	1,001
投資その他の資産		
投資有価証券	10,147	9,559
その他	7,452	6,957
貸倒引当金	△3,375	△2,946
投資その他の資産合計	14,223	13,570
固定資産合計	109,776	108,230
資産合計	212,172	223,410

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,795	50,372
短期借入金	33,155	31,339
1年内償還予定の社債	40	40
1年内返済予定の長期借入金	18,462	18,819
未払法人税等	673	1,296
引当金	494	290
その他	17,281	19,005
流動負債合計	114,902	121,164
固定負債		
社債	700	680
長期借入金	28,260	30,598
退職給付引当金	5,836	6,014
製品改修引当金	3,700	3,700
引当金	28	24
負ののれん	68	34
資産除去債務	417	420
その他	10,047	9,819
固定負債合計	49,059	51,291
負債合計	163,961	172,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	35,568	35,568
利益剰余金	197	3,477
自己株式	△2,913	△2,915
株主資本合計	47,852	51,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,277	△1,763
繰延ヘッジ損益	—	△10
土地再評価差額金	745	709
為替換算調整勘定	8	△6
その他の包括利益累計額合計	△523	△1,070
少数株主持分	881	894
純資産合計	48,210	50,954
負債純資産合計	212,172	223,410

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
売上高	128,731	135,177
売上原価	97,600	101,027
売上総利益	31,131	34,150
販売費及び一般管理費	27,916	28,859
営業利益	3,215	5,290
営業外収益		
受取利息	26	23
受取配当金	99	121
持分法による投資利益	34	139
負ののれん償却額	34	34
その他	511	564
営業外収益合計	706	883
営業外費用		
支払利息	887	853
売上割引	310	285
その他	400	469
営業外費用合計	1,597	1,607
経常利益	2,324	4,565
特別利益		
固定資産売却益	22	38
投資有価証券売却益	0	22
貸倒引当金戻入額	20	—
その他	4	3
特別利益合計	47	64
特別損失		
固定資産売却損	117	19
固定資産除却損	227	47
減損損失	372	135
投資有価証券評価損	67	42
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	171	—
その他	21	35
特別損失合計	977	278
税金等調整前四半期純利益	1,394	4,351
法人税等	429	1,165
少数株主損益調整前四半期純利益	964	3,185
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△59	16
四半期純利益	1,024	3,169

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	964	3,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△499	△487
繰延ヘッジ損益	△25	△10
為替換算調整勘定	△56	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△582	△511
四半期包括利益	382	2,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	443	2,657
少数株主に係る四半期包括利益	△60	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,394	4,351
減価償却費	2,665	2,492
減損損失	372	135
のれん償却額	△23	△23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	293	△3
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	205	27
前払年金費用の増減額 (△は増加)	97	19
受取利息及び受取配当金	△126	△145
支払利息	887	853
持分法による投資損益 (△は益)	△34	△139
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	67	20
固定資産除売却損益 (△は益)	323	27
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	171	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,458	△5,981
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,741	△3,056
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,551	5,487
その他	3,106	1,888
小計	6,752	5,953
利息及び配当金の受取額	132	152
利息の支払額	△899	△871
特別退職金の支払額	△2	—
法人税等の支払額	△301	△258
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,682	4,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△856	△336
定期預金の払戻による収入	655	388
有形固定資産の取得による支出	△1,083	△1,409
有形固定資産の売却による収入	908	94
投資有価証券の取得による支出	△265	△25
投資有価証券の売却による収入	17	42
貸付けによる支出	△104	△96
貸付金の回収による収入	136	76
その他の支出	△191	△172
その他の収入	116	114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△666	△1,324

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,514	△1,836
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△72	△92
長期借入れによる収入	9,530	11,420
長期借入金の返済による支出	△10,181	△9,224
社債の発行による収入	123	—
社債の償還による支出	△20	△20
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△4	△0
少数株主への配当金の支払額	△2	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,143	240
現金及び現金同等物に係る換算差額		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,856	3,890
現金及び現金同等物の期首残高	19,900	22,890
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	53
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	160
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,757	26,996

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年6月1日 至平成22年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建材事業	マテリアル 事業	商業施設 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	97,031	18,323	13,322	128,677	54	128,731	—	128,731
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,212	12,714	156	16,083	—	16,083	△16,083	—
計	100,244	31,038	13,478	144,761	54	144,815	△16,083	128,731
セグメント利益	1,699	1,088	601	3,389	34	3,423	△208	3,215

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額△208百万円には、セグメント間取引消去2,250百万円、たな卸資産の調整額△379百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△2,079百万円が含まれております。全社費用は、主として連結財務諸表提出会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	建材事業	マテリアル 事業	商業施設 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する 売上高	101,249	18,443	15,414	135,107	69	135,177	—	135,177
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,695	13,310	98	16,104	—	16,104	△16,104	—
計	103,945	31,754	15,512	151,212	69	151,281	△16,104	135,177
セグメント利益	2,397	1,320	1,199	4,917	50	4,968	321	5,290

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。
 2 セグメント利益の調整額321百万円には、セグメント間取引消去1,967百万円、たな卸資産の調整額121百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,767百万円が含まれております。全社費用は、主として連結財務諸表提出会社の総務部、人事部、財務部など、管理部門に係る費用であります。
 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。